

「食べて応援しよう！」～被災地産食品の利用・販売を推進～

MAFF

「食べて応援しよう！」のキャッチフレーズの下、生産者、消費者等の団体や食品産業事業者等、多様な関係者の協力を得て、被災地産食品の販売フェアや社内食堂等での積極的利用の取組を推進。(23年4月～)

関係省庁との連携により、経済団体、食品産業団体、都道府県、大学等に対し、被災地産品の販売促進を依頼する文書を発出。(24年8月、25年6月、26年8月、27年10月、28年10月、30年3月)

全府省庁の食堂・売店において、積極的に被災地産食品を利用・販売。

福島県産農産物については、産地と連携しつつ出荷時期に合わせて効果的にPRを行う取組を支援。



「食べて応援しよう！」とは、被災地やその周辺地域で生産・製造されている農林水産物・食品（被災地産食品）を積極的に消費することで被災地の復興を応援する運動



農林生協（農林水産省総合売店）に「福島県産食品コーナー」を開設（29年8月）



関東農政局神奈川拠点における被災地産食品を使用したお弁当を食べる取組（29年6月）



被災地産品販売フェア「第2回 食べて応援しよう！in仙台」を勾当台公園で開催（30年3月）



セブン&アイホールディングスによる「東北かけはしプロジェクト」（30年3月）

これまでの取組： 1,585件
うち被災地産食品販売フェア等： 1,251件
社内食堂等での食材利用： 230件
(23年4月～30年3月末までの間)